

このからの学校と地域 第2号

馬頭東小学校地域連携研修会開催

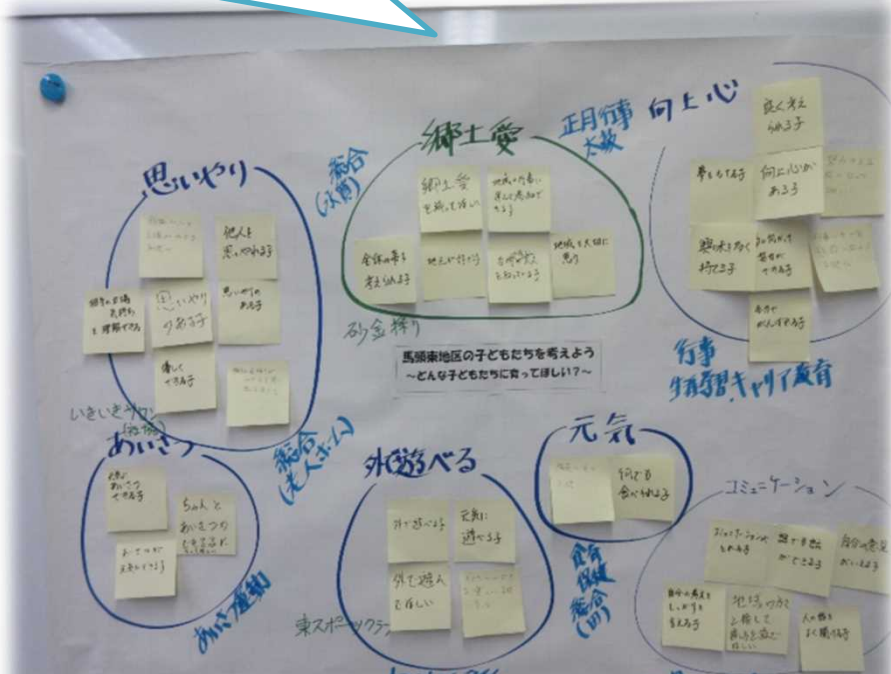
学校と地域の連携の第一歩

10月13日（水）に馬頭東小学校図書室において、馬頭東小学校地域連携研修会が開催されました。学校、家庭、地域の代表者が「馬頭東地区の子どもたちを考えよう」というテーマで熟議※を行いました。

最初に学校、家庭、地域それぞれが、馬頭東小学校地区の子どもの良いところ、足りないところを出し合い、それを共有しました。その後、どんな子どもに育ってほしいかを課題と照らし合わせて把握し、一人一人「めざす子ども像」を考えました。同じような意見は一つのグループにまとめて見出しを付け、それぞれの立場でどのような手立てが考えられるかを話し合いました。手立てを考える話し合いが途中で終了してしまいましたが、熟議により学校、家庭、地域の連携・協働を体験し、熟議の有効性を認識しました。



郷土を愛する子ども、思いやりのある子ども、元気な子ども、挨拶ができる子ども、友達を大切にする子ども、向上心がある（目標を持てる）子どもなど、いろいろな意見が出ました。



地域連携マイスター
鈴木 廣志先生

熟議

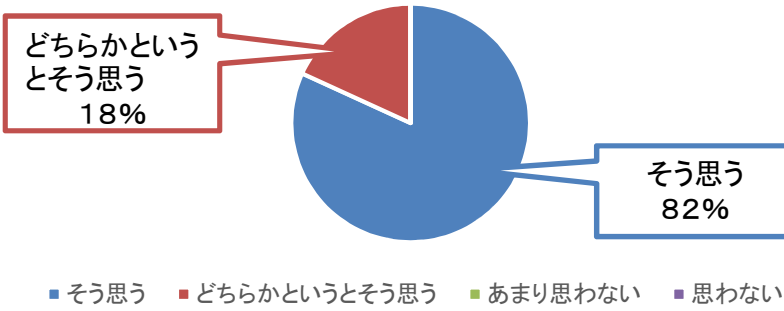
熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができま。関係者がみな当事者意識を持ち、子どもたちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を**実現していくのか**という**目標・ビジョンを共有**するため「熟議（熟慮と議論）」を重ねていきます。



学校と家庭、地域の方、子どもたちのことを熱心に考え、とても良い雰囲気です。話し合われていました。このみなさんの思いが大切です。熟議を重ね、じっくり考えて動き出すとよいでしょう。

地域連携研修会アンケート結果

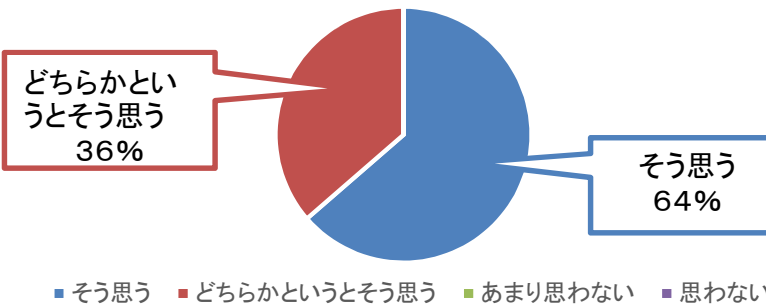
(1) 学校と地域の連携を図る上で、熟議は有効である。



そう思う	9人
どちらかという とそう思う	2人
あまり思わない	0人
思わない	0人



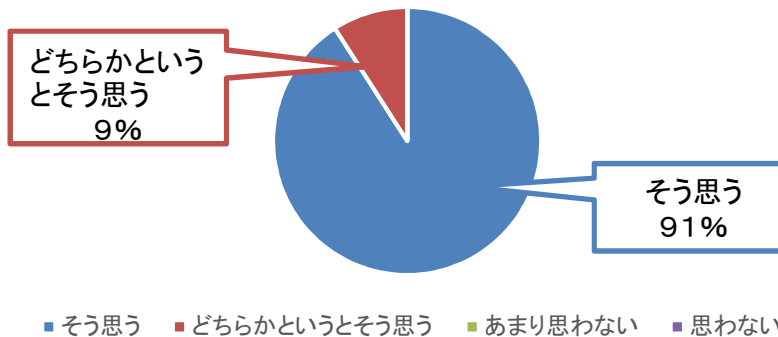
(2) 学校と地域双方の思いを出した話し合いができた。



そう思う	7人
どちらかという とそう思う	4人
あまり思わない	0人
思わない	0人



(3) 学校と地域の研修会を、今後も実施したほうがよい。



そう思う	10人
どちらかという とそう思う	1人
あまり思わない	0人
思わない	0人



【自由記述】

- ・学校と地域が共通理解して進むには対話が必要だと思いました。
- ・多くの方にこのような経験（熟議）をしてもらえればと思いました。
- ・グループ討議の話し合いがよくわかりました。
- ・また、次回このような話し合いができたと思います。
- ・近くに子どもがあまりいなく実態があまりわかりませんでした。今日の研修で少し実態が見えてきました。
- ・毎日の生活の中で、時間をとって考えるということをしていなかったと思いました。
- ・ワークショップによる熟議は大変有効であると思いました。出された考えをどの活動と結びつけるとよいか、具体的なイメージをもつことが重要だと思います。
- ・いろいろな方の意見を聞くことができてよかったです。
- ・地域で子どもたちのことを考える機会ができてよかったです。
- ・めざす子ども像の輪郭が徐々にはっきりしてきた感じがします。
- ・子どもたちとのふれあいの機会が増えていけばいいなと思います。
- ・地域の方の思いや考えを改めて知ることができ、貴重な時間となりました。このような場を今後も継続できればと思います。
- ・地域の方とふれあう機会がなかったので、今回のワークショップは有意義でした。

